

Medical Control によってもたらされる利点

- 1 現場で提供される医療の質の保障
- 2 救命率の向上
- 3 医療提供者の擁護
- 4 当該組織における risk management

## Medical Control on EMS systems

\* オンライン Medical Control:

On-Line  
Medical  
Control

現場処置に関する具体的直接指示

\* オフライン Medical Control:

Off-Line  
Medical  
Control

システム構築のすべて

## \* オンライン Medical Control:

On-Line  
Medical  
Control

### \* 現場での処置に関する無線などを用いた直接的な指示

- 新鮮な情報／次の処置へのフィードバック
- リアルタイムでの状況把握
- 処置プロトコール以外の処置の指示

## \* オフライン Medical Control:

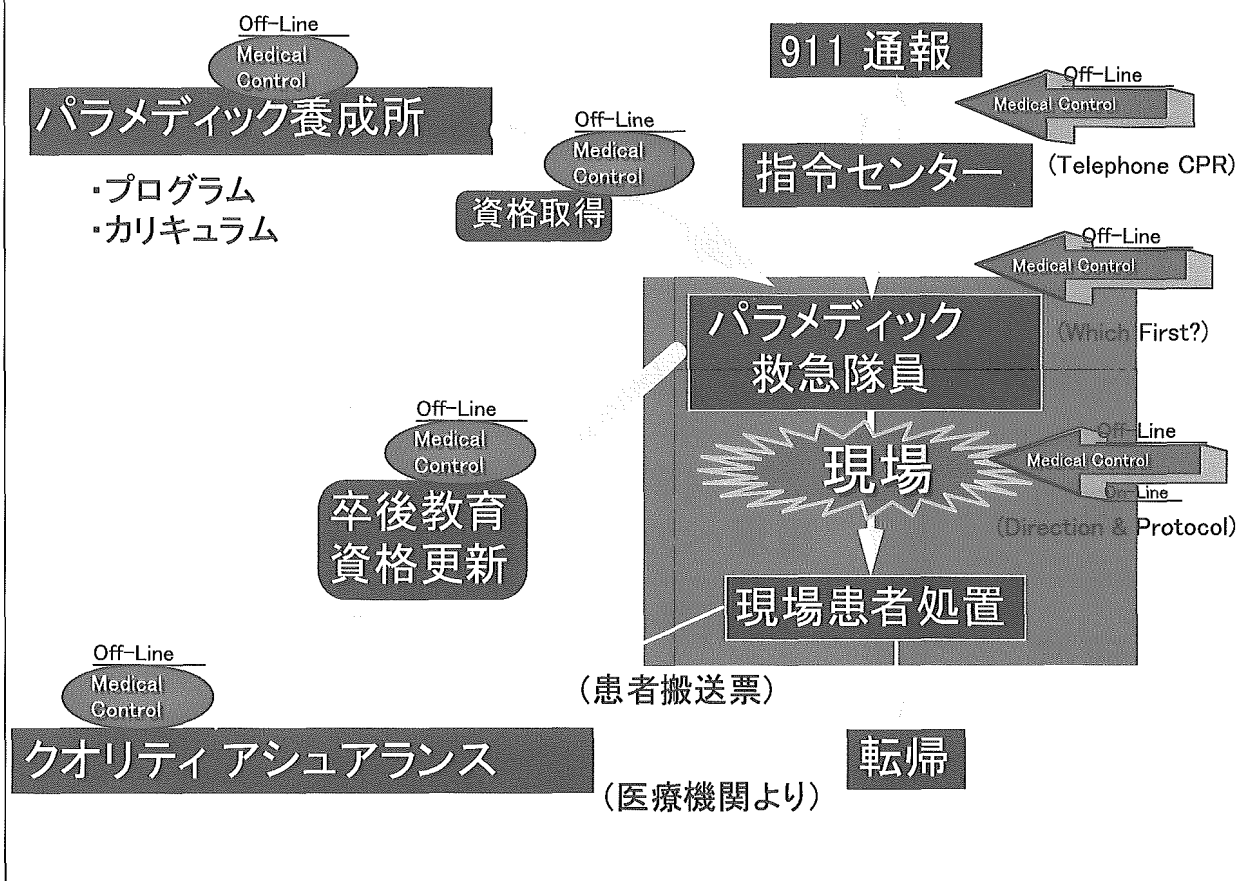
Off-Line  
Medical  
Control

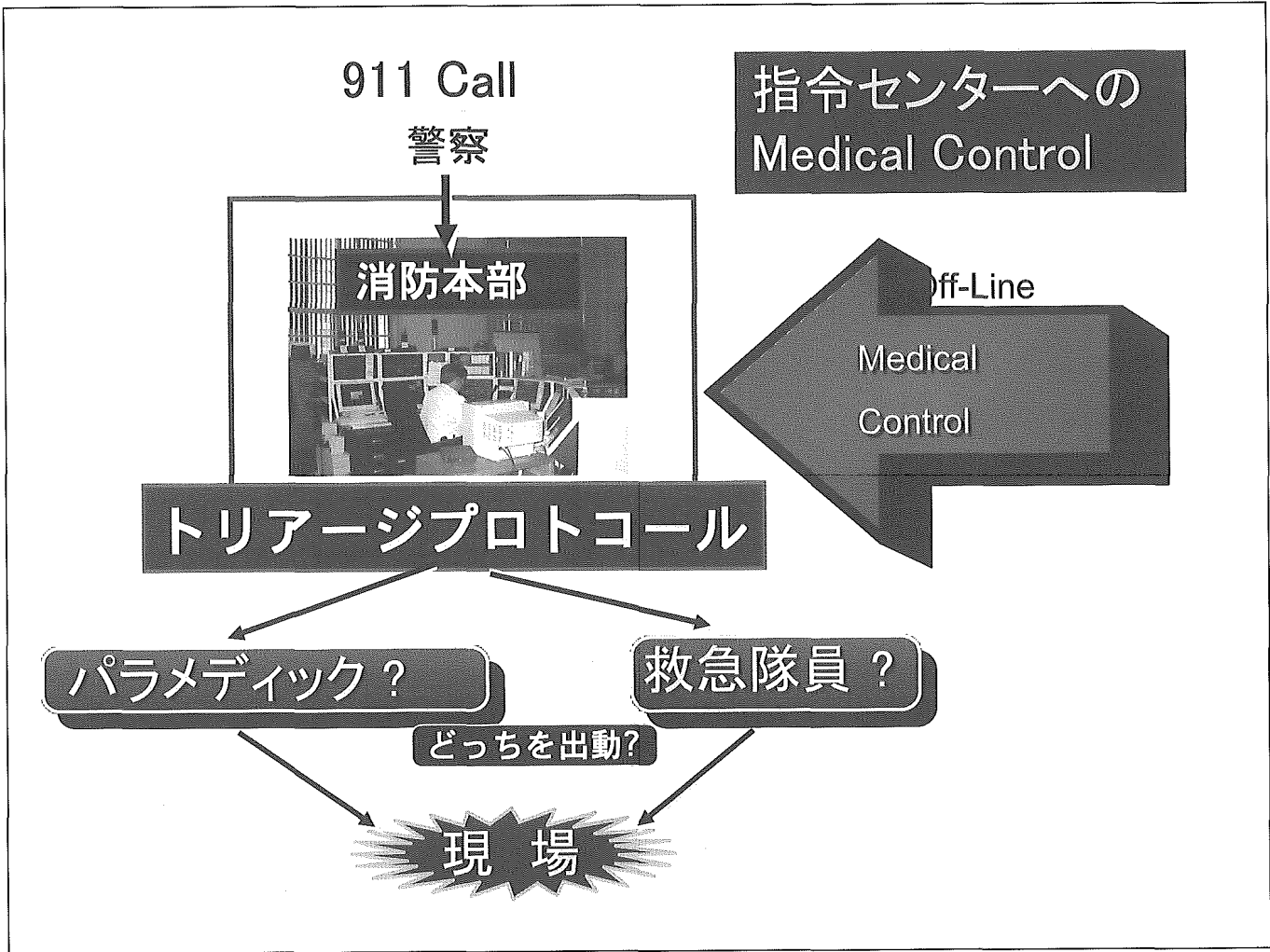
- 1 病院間搬送中における処置プロトコール作成
- 2 パラメディック養成所での教育  
カリキュラム作成、改善
- 3 指令センターでのトリアージプロトコール、  
及び現場処置マニュアルの作成、改善
- 4 医療行為業務の法的擁護の確立
- 5 卒後教育、資格更新用クレジット制講習
- 6 なされた業務の質の検討、維持

## 諸要素の分析

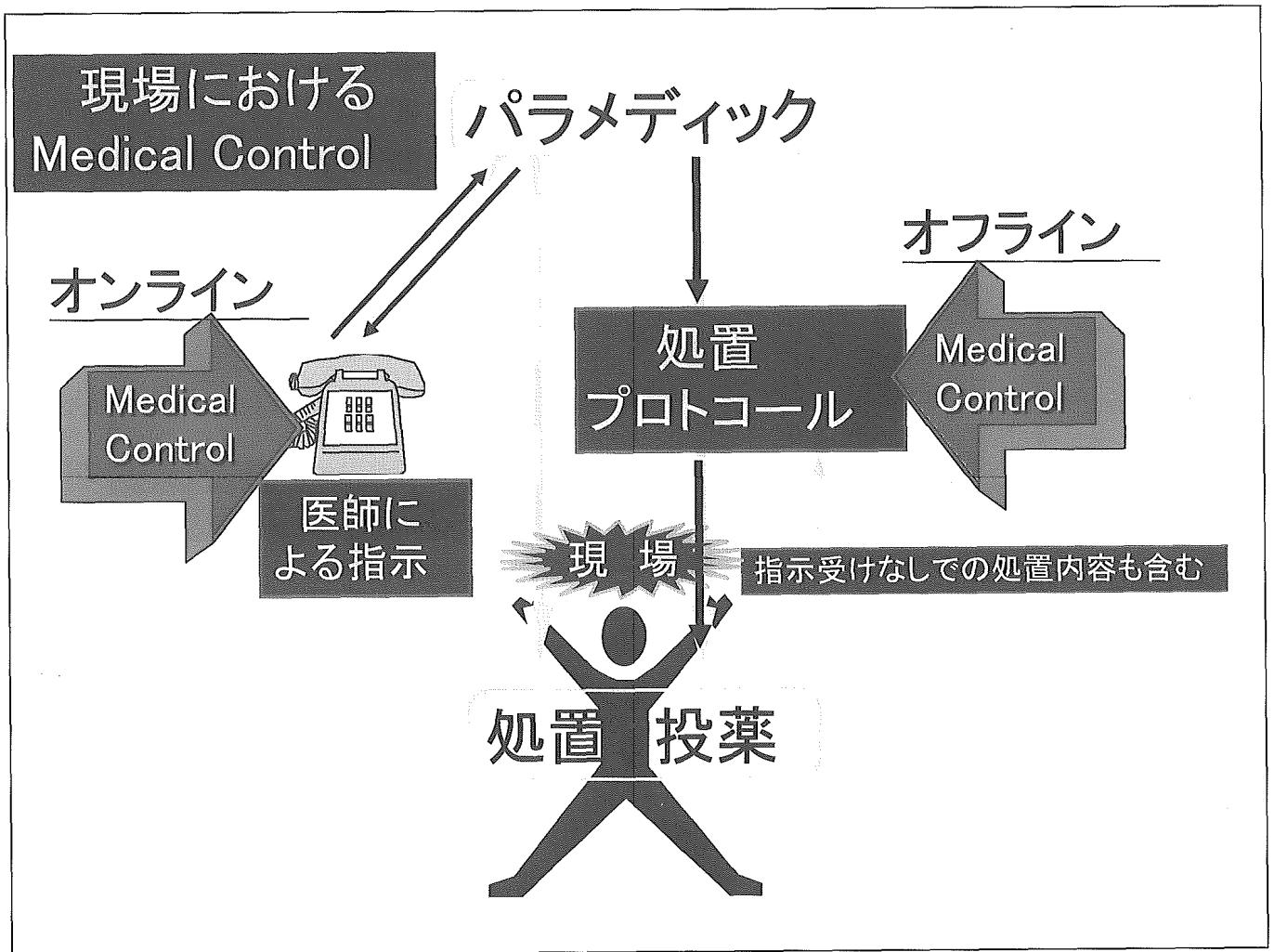
場所	Medical Control すべきもの
指令センター	トリアージプロトコール(重症度判定用) テレフォンCPR 用プロトコール
Paramedic 養成所	カリキュラム、教育戦略、卒業基準
救急現場	傷病者処置プロトコール 現場への直接指示 (on line MC)
卒後研修	資格更新用カリキュラム 個人指導用プログラム
一般市民への講習	蘇生法講習テキスト、Public Access AED

# どこでメディカルコントロールは行われるか









## Medical Director

(Feb.1999)

- \* 誰が? : 救急医、外傷外科医
- \* 何処に? : 消防署内、基幹病院救急部内  
民間救急搬送会社
- \* 何をする? :

### オンライン Medical Control

- ・プロトコール以外の処置の直接指示



### オフライン Medical Control

- ・プロトコール作成、改編
- ・カリキュラム立案



### Quality Assurance

- ・なされた個々の処置の検討、評価
- ・プロトコールの見直し



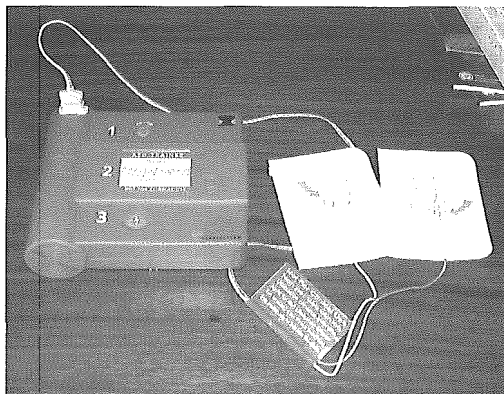
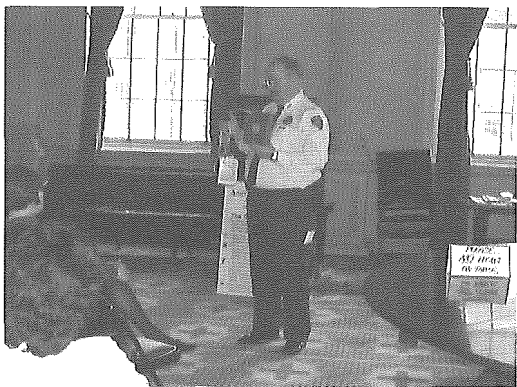
## 市民の行う除細動

(Feb. 1999)  
(Boston FD, AHA, ARC)

- \* 国家プログラムによる講習受講  
(米国心臓協会、米国赤十字、ボストン消防)
- \* よきサマリア人法による行為の擁護
- \* Medical Directorの管理下であること
- \* 施行後、地区消防への報告の義務

Off-Line

Medical  
Control



## Quality Assurance



\* 誰が？ : 看護婦(士)、パラメディック、救急医

\* 何処で？ : 消防署内、地域基幹病院救急部内

\* 何をする？ :

### 業務の質のチェック

- ・パラメディックの処置の検討、評価
- ・プロトコールの見直し、改善

### 教育プログラムの構築

- ・養成所、卒後教育、実技実習のカリキュラム作成

オフライン

Medical  
Control

Quality  
Assurance

評価資料

録音テープ

患者搬送票

収容後患者経過

同乗上席パラメディック  
の現場でのチェック

業務の質の改善

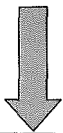
改善内容...

- \* 個人の手技、現場判断
- \* 処置プロトコール
- \* 教育プログラム

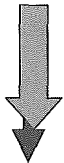
## Medical Director 制度

### 医療サイド

Medical Director



Medical Control



### 消防サイド

Prehospital Care  
Providers

## 医療側での発想の転換

- ・MCのできる救急医の育成
- ・MCの義務を認識すること
- ・MCの権利を確保すること
- ・病院内にて地位を認めること
- ・報酬受領の権利を認めること
- ・救命士業務に責任をもつこと

## 消防側での発想の転換

- ・MCを受けるための門戸を開放
- ・MCの必要性を認識すること
- ・protocol等の情報公開
- ・救命士の知識、技術の向上

## Medical Control の具体案

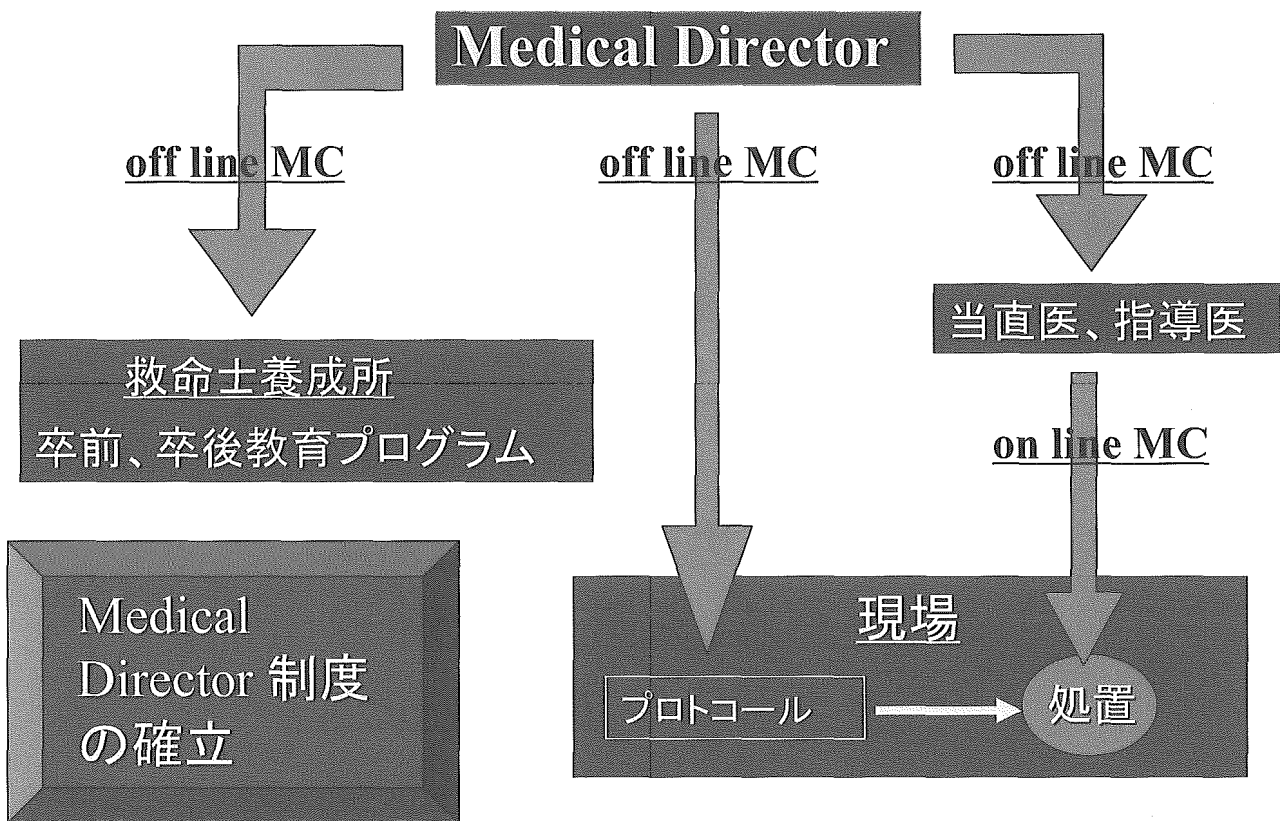


### 職場周囲からの Medical Director の認知



- 1 指令センターでのトリアージプロトコルの作成と公開
- 2 現場での処置プロトコルの作成と公開
- 3 患者搬送票の改善 (Quality Assurance 提出用を付加)
- 4 週1回程度の検討会 (クレジット制の導入)
- 5 Refresher Course の開催

# Medical Control の導入にあたって...





## Medical Control の導入にあたって・・・

法律、施行条例などによる擁護、担保の確認

救急救命士

\* 救急救命士法

\* 施行細則

\* 内規??

Paramedic

\* よきサマリア人法(州法)

\* 州法、条例、施行例

\* 医師法(の擁護のもとに)

\* プロトコールの遵守

---

厚生労働科学研究費補助金  
医療技術評価総合研究事業

メディカルコントロール体制の充実強化に関する研究

平成 17 年度 総括・分担研究報告書

---

発行 平成 18 年 3 月 30 日  
発行者 平成 17 年度厚生労働科学研究費補助金  
(医療技術評価総合研究事業)  
「メディカルコントロール体制の充実強化に関する研究」  
主任研究者 山本保博  
日本医科大学救急医学教室  
日本文京区千駄木 1-1-5  
TEL03(3822)2131